

# 基礎科学ノート

## Notes on Basic Science

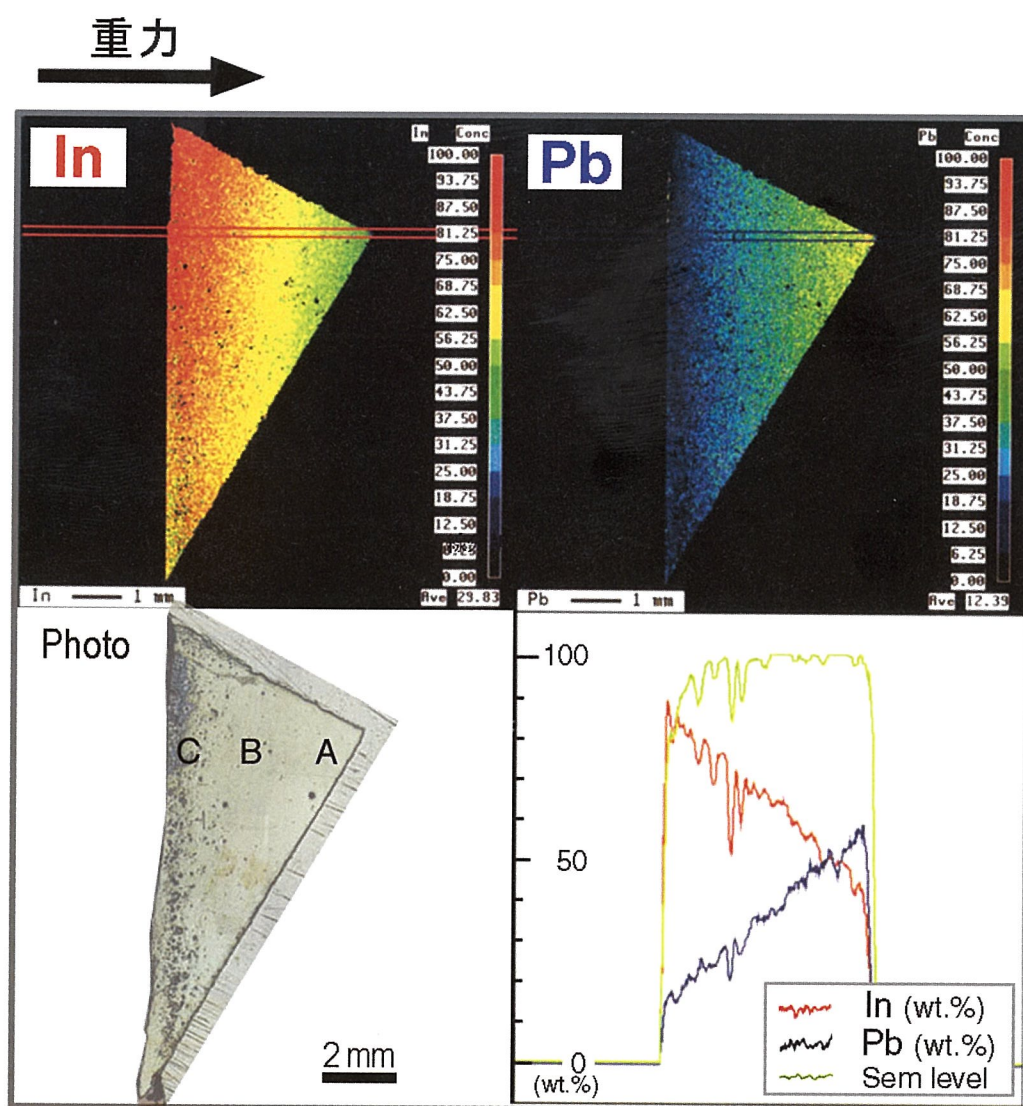
Vol.11

No.1

Sep. 2003

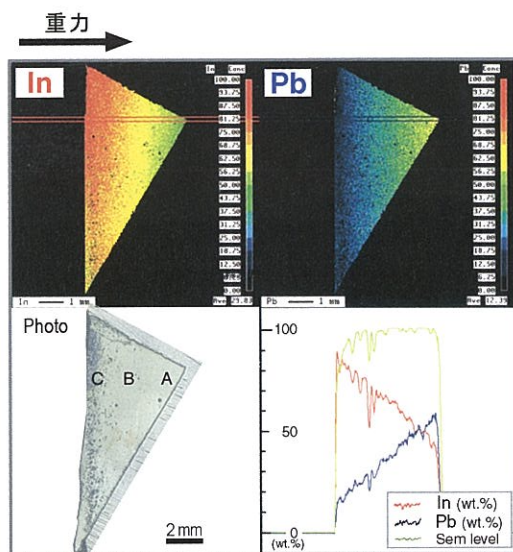
通刊 19号

ISSN 1340-3079



日本原子力研究所

J A E R I



表紙口絵説明

100万Gレベルの高温・超重力場下(最大82万G、150℃、100時間)で置換型溶質原子の沈降によって形成されたIn-Pb系合金中の傾斜構造。

Pbが重力方向にInが逆方向に連続的に増加し、格子定数も変化している。さらに、アルファ中間相(F.C.Tetragonal)単相から重力側(A領域)に(Pb)相、反対側(C領域)に(In)相が出現し、相変態を伴っている。[本文30ページを参照]